

お知らせ

令和 8 年 9 月 7 日

【現場見学・校外学習の取材案内】発信元：岡山県立笠岡工業高等学校

担当者：主幹教諭 大西 豊

教頭 安原 啓史

TEL:0865-67-0311

海洋土木の最前線と環境技術を体感！

第1学年生徒が「水島港 浚渫・カルシア改質土埋戻し工事」を現場見学

本校では、第1学年の「工業技術基礎」の学習の一環として、水島港における浚渫(しゅんせつ)工事現場の見学を実施いたします。教室の座学だけでは得られない「海の現場」のスケール感や環境保全技術に触れることで、技術者としての社会的役割や使命・責任についての理解を深め、主体的・協働的に学ぶ態度と勤労観・職業観を育成します。

記

1. 日 時 令和 8 年 9 月 8 日(火) 12:15 ~ 15:45(予定)
2. 場 所 水島港 浚渫工事現場(水島港沖合)・児島沖
3. 参加者 環境土木科第 1 学年生徒(25 名) 及び 教職員(4名)

4. 見どころ(注目の取組) **★全国的にも珍しい先進的環境改質技術の見学**

過去に海砂採取によって変形した海底に対し、今回浚渫した土に「カルシア改質材」を混合した「カルシア改良土」として埋め戻す、先進的かつ全国的にも珍しい最先端の環境再生取組を間近で見学します。

5. 取材について 取材を希望される場合は、安全確保および船への移動準備の都合上、事前に担当者(大西・安原)までご連絡をお願いいたします。

【見学の目的・教育的意義】

- ① スケール感と五感を通じた安全・環境教育：巨大な作業船や水没構造物など海洋土木ならではの現場を体感。
波の揺れや風音などを通じて、自然と隣り合わせの現場における安全・環境保護の重要性を身体感覚として学びます。
- ② 人・技術・環境を繋ぐ教科横断的学び：「工業技術基礎」で学ぶ技術者の社会的役割や環境保全との関わりを、実際の工事現場と関連付け理解を深めます。
- ③ 勤労観の醸成と「学びの循環」：国際物流拠点を支える技術者の姿から高い関心を喚起し、【知識・理解】→【思考・判断・表現】→【主体的に学びに向かう力】という育成を目指します。

【生徒の事前学習での意気込み(生徒の声)】

「水島港が自分たちの生活や日本の産業を陰で支えていることを座学で知り、驚きました。普段は見ることができない海の上での巨大な工事や、カルシア改質土を使った環境保護の技術を実際に目にするのがとても楽しみです。現場で働くプロの技術者の方々の姿から、技術者の責任ややりがいをしっかり学びたいです」

【令和5年6月に実施した見学の様子】

